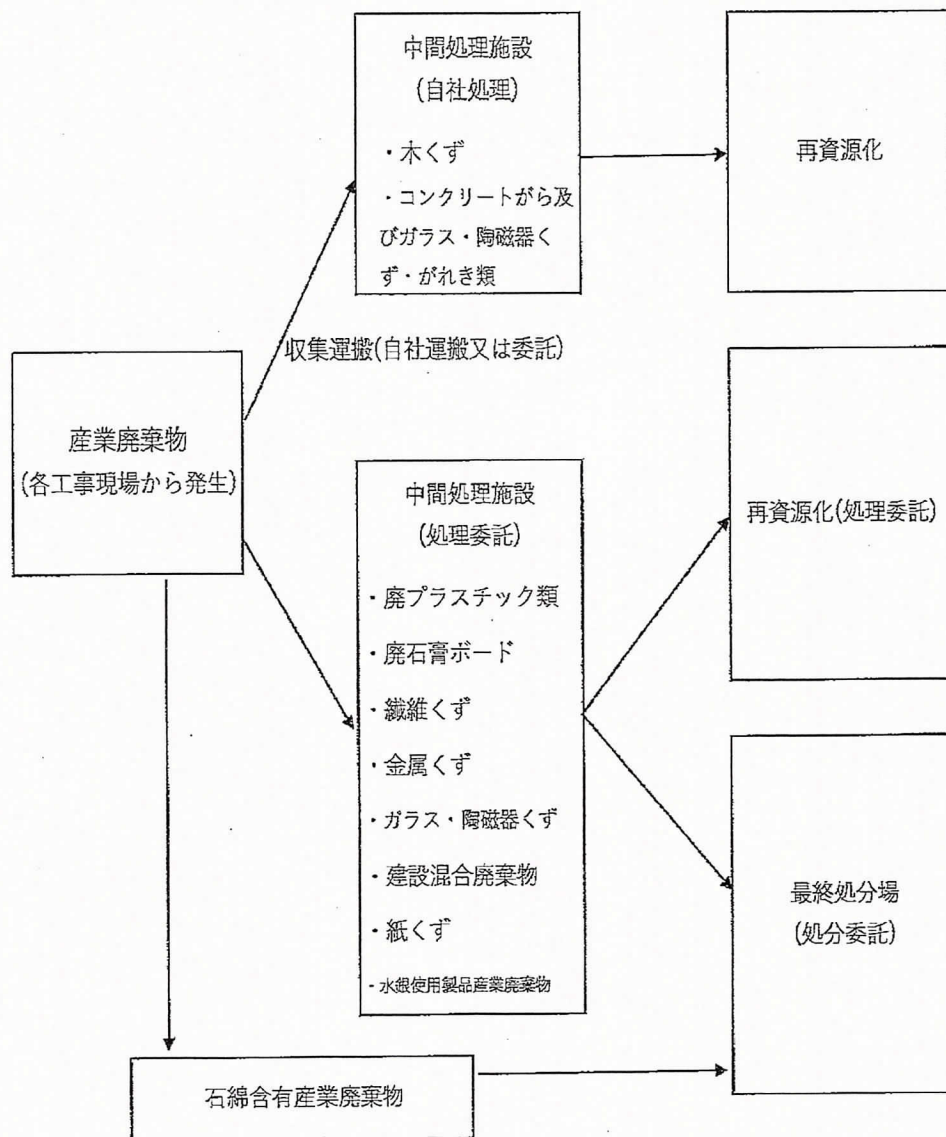


（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 5月20日	
八戸市長 殿	
	提出者 住 所 青森県上北郡おいらせ町西後谷地41番地2 氏 名 株式会社 北栄企業 代表取締役 北向栄作 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0178-50-0206
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 北栄企業
事業場の所在地	青森県上北郡おいらせ町西後谷地41番地2
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	とび・土工工事業 ・ 解体工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高 ￥26,577千円
③従業員数	8人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

別紙

産業廃棄物の一連の処理の工程



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・(第2面)別紙1のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	木くず
	排出量	32.34 t	252.24 t
	(これまでに実施した取組) ・解体工事現場に於いては、廃棄物の分別を徹底し、混合廃棄物の発生を抑制し、廃棄物の再資源化へ推進する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	木くず
	排出量	25.00 t	150.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・上記内容を実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・解体工事現場で発生した産業廃棄物は種類毎に分別する。 ・廃棄物に併せた解体作業工程を組み、分別解体の精度をあげる。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記内容を実施する。

(第2面) 別紙1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役

- ・ 産業廃棄物処理統括責任者
- ・ 産業廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
- ・ 社内の産業廃棄物管理規定の策定

本社総務部
(廃棄物管理担当者)

- ・ 委託契約書及びマニフェストの作成、保管
- ・ 帳簿の記録と保管
- ・ 産業廃棄物処理計画書及び産業廃棄物処理計画実施状況報告書の作成、提出
- ・ 産業廃棄物管理状況の把握
- ・ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握
- ・ 処理委託業者、再生利用業者の選定及び管理
- ・ 産業廃棄物管理票交付状況報告書の作成、提出
- ・ 環境管理事務所への各種報告
- ・ 社員、関連会社への教育、指導
- ・ その他関連する事項

工事部 現場代理人

- ・ 産業廃棄物管理責任者
- ・ 現場における産業廃棄物の管理に関する責任
- ・ 作業員の教育、指導
- ・ 各現場での作業工程の調整、分別等の実施指導
- ・ 産業廃棄物の発生抑制

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物 (安定型)
排 出 量	20.38 t	1,079.39 t	2.24 t	4.00 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物 (安定型)
排 出 量	20.00 t	700.00 t	2.00 t	3.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有廃棄物 (管理型)	混合廃棄物(安定型)	混合廃棄物(管理型)	アスファルトガラ
排出量	0.38 t	6.55 t	0.80 t	12.05 t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有廃棄物 (管理型)	混合廃棄物(安定型)	混合廃棄物(管理型)	アスファルトガラ
排出量	0.30 t	5.00 t	0.50 t	10.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物（廃蛍光灯）	がれき類	繊維くず
排 出 量	52.89 t	0.04 t	55.86 t	11.19 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物（廃蛍光灯）	がれき類	繊維くず
排 出 量	30.00 t	0.03 t	40.00 t	10.00 t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,079.39 t	12.05 t
	(これまでに実施した取組) 再資源化へ推進する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	700.00 t	10.00 t
	(今後実施する予定の取組) 再資源化へ推進する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	—	—
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	55.86 t	252.24 t	t	t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	—	—
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	40.00 t	150.00 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t	t	t

【目標】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t	t	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	32.34 t	20.38 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 解体工事現場で発生する産業廃棄物は種類毎に分別する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物(安定型)	石綿含有産業廃棄物(管理型)	混合廃棄物(安定型)
全処理委託量	2.24 t	4.00 t	0.38 t	6.55 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(第4面) - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	—	—	—	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物(管理型)	廃石膏ボード	水銀使用製品産業 廃棄物(廃蛍光)	繊維くず
全処理委託量	0.80 t	52.89 t	0.04 t	11.19 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	25.00 t	150.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第5面) - 2

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	コンクリート片	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物 (安定型)
全 処 理 委 託 量	20.00 t	700.00 t	2.00 t	3.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有廃棄物 (管理型)	混合廃棄物(安定型)	混合廃棄物(管理型)	アスファルトガラ
全 処 理 委 託 量	0.30 t	5.00 t	0.50 t	10.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	- t	- t	t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	水廻り使用製品廃棄物（廃蛍光灯）	がれき類	繊維くず
全処理委託量	30.00 t	0.03 t	40.00 t	10.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。